

# 釧路南ロータリークラブ会報

第17回 例会報告 2011.11.4 通算1417回

・点 鐘 長倉会長

## ・ロタリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 森江 洋之会員

## ・誕生祝

和田 優会員 S21. 11. 6 (65歳)

## ・結婚祝

高橋 康成会員 S42. 11. 5 (44年目)

## ・会長挨拶



先週は、血液センターにて職場訪問例会で献血を行いました。一人も献血をできる人がいないのではないかと感じておりましたら8名が献血することができました。ご協力ありがとうございます。私は、肝臓の数値がほんの少し高く、残念ながらだめでしたが、最近血液が足りなくなっているせいか、薬を飲んでいても献血可能な場合もあるようですので、改めてトライしてみます。血液といえば、私は以前

より血液型的性格判断というのに興味がありまして、クラブ会員の血液型も結構記憶しております。

因みに次のようなことが言われているようです。

A型：堅実で協調性が高い。B型：楽観的でマイペース。O型：おおらかで負けず嫌い。AB型：個性的で2面性を持つ。髪の薄くなりやすい血液型1位O型（抜けるときは徹底的に抜ける。2位B型（未練型）3位A型後頭部やその周辺だけ残る（残頭型）4位AB型（前髪だけ残ったりと独特の形になりやすい）蚊に刺されやすい血液型O型。モデル血液型男性O型。女性A型。司会にむいている血液型A型。リーダーに向いている血液型O型（歴代首相に多い）。お金が貯まる血液型A型。お金で失敗する血液型O型。東大生に多い血液型B型。

色々ありますが、私が人の血液型を覚えていられるのも自分の中での血液型的性格と一致している人が多いからだと思っています。センター長のお話ですとAB型とO型の血液が不足しているようです。少子高齢型の時代ですので、ますます不足する傾向のようです。今後ともご協力をお願いいたします。今日は、財団について、「ロータリー財団月間に因んで」というテーマで福井会員よりお話をいただきます。

## ・幹事報告

- \* 釧路北・西・東・ベイ・浜中・白糠・根室RCより11月プログラムを拝受しております。
- \* 根室RC・釧路西RCより会報を拝受しております。
- \* ガバナー月信 11月号が届いております。会員のボックスへ
- \* 第31回ライラセミナーの報告書が届いております。回覧します。
- \* 釧路更生保護女性会創立60周年記念事業の一環としての映画「エクレール・お菓子放浪記」平成23年11月20日(日)14時30分、18時30分2回 会場：生涯学習センター大ホールで一般1,000円(前売り)チケット大人10枚、子供5枚預かっております。

- \* 合同事務所費精算書 10 月分参考に報告いたします。(32,033 円)
- \* 11 月 12 日 (土) 観楓会家族同伴例会、出席締め切ります。
- \* 11 月 18 日 (金) クラブフォーラム例会、  
場所：釧路市交流プラザさいわい

## ・委員会報告 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金  
和田 優会員 誕生祝として  
高橋 康成会員 結婚祝として

## ・本日のプログラム

### 「ロータリー財団月間に因んで」

担当 ロータリー財団・米山委員会

#### ◆説明担当者 福井会員



11 月はロータリー財団月間です。ロータリアンの皆さんに財団について少しでも理解を頂き、財団への御協力を呼び掛けていく月間です。

#### ・財団の始まり

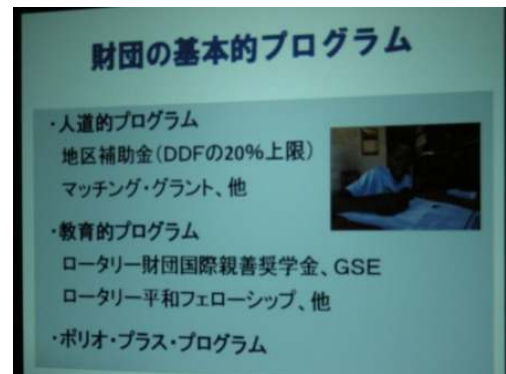
1917 年に 6 人目の R I 会長アーチ C・クランプがアトランタの国際大会で「ロータリーが何か良い事をしよう」と呼びかけて、1928 年に正式にロータリー財団として発足した訳です。最初はあまり基金が集まりませんでしたが、1947 年にポール・ハリスが逝去されたのをキッカケに、国際ロータリーに相次いで寄付が寄せられました。これにより最初のプログラムである大学院生のための国際奨学金が創設されました。財団は、ポールの記念基金を設け、現在までに総額 10 億ドル以上となっています。

## ・ロータリー財団の標語・使命

財団の標語は、アーチ C・クランプが呼びかけた言葉で、「世界で良いことをしよう」です。

財団の使命は、世界中の人々の、「健康状態の改善、教育への支援、貧困の救済、平和の達成」です。

## ・財団の基本的なプログラム

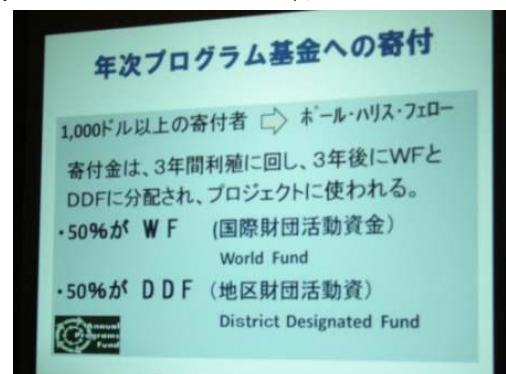


財団の三大プログラムを要約すると、一つに人道的プログラムで、地域補助金で DDF(地区財団活動費)の 20%を上限に行われます。

二つに教育的プログラムで、国際親善奨学金、GSE(研究グループ交換)等です。

三つにポリオ・プラス・プログラムです。1984 年から始まり世界からポリオ(小児麻痺)を撲滅しようという大規模な活動です。

## ・年次プログラム基金への寄付



皆さんに毎年 100 ドル以上の寄付を呼び掛けていますが、1,000 ドルに達すると、ポール・ハリス・フェローとなります。

寄付金は 3 年間投資に回してから、3 年後にその資金が、WF と DDF に 50%ずつ分配されプロジェクトに使われます。

・シェア・システムで年次寄付を配分



このように寄付金を、3年後に活動に使用されるシステムを、シェア・システムと呼ばれています。

・2つの基金



活動資金には、DDF と WF がありますが、どのような違いがあるか掲げました。

DDF は地区で用途を決定できますが、WF は、ロータリー財団の管理委員会で決定します。

・試験地区以外の地区

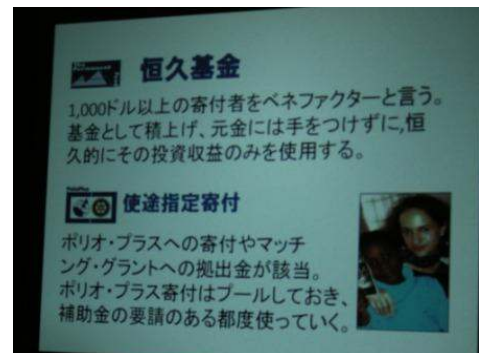


各地区に、地区財団活動費として戻ってきた資金の上限が 20%までを地区内の活動費として各クラブで

植樹や病院や福祉施設への寄贈、清掃活動等のプロジェクトに使用できます。但し細かな内容で審査がありますので一部しか認められない場合もあります。申し込みが多数の場合は、地区で選考されます。DDF の残りの資金は、マッチング・グラントや国際奨学金、GSE 等に使われます。タイトルに試験地区以外と成っていますのは、2013 年 7 月から財団プログラムが「未来の夢計画」として大きく変わります。昨年から準備期間として、世界で 531 地区ある中から、100 地区が選ばれ試験的に始まっています。試験地区(パイロット地区)では、DDF の 50%まで使用できるようになり、新しいプログラムを実施するようになりました。

2500 地区は残念ながら試験地区に選ばれていませんので来年度までは現行のままです。

・恒久基金・使途指定寄付

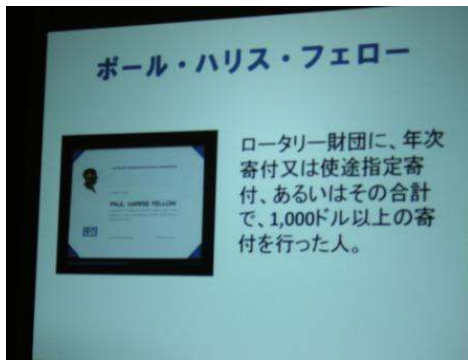


恒久基金は、1982 年に世界理解と平和のためロータリー財団基金として創設され、12 年後に恒久基金として改称された。恒久基金は、元金を使わない基金で投資収益のみを財団プログラムに使われます。1,000 ドル以上を寄付すると、ベネファクターと呼ばれます。

使途指定寄付は、使い道を決めて寄付するもので、ポリオ・プラスパートナーやマッチング・グラントへの寄付。

ポリオ・プラス寄付は、寄付金をプールしておき、ポリオ・プラス補助金の要請がある都度使っていきます。

## ・ポール・ハリス・フェロー



ロータリー財団に、年次寄付又は、使途指定寄付で、1,000 ドル以上寄付した人。

その人がその後の1,000 ドル寄付するごとに、マルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。認証ポイントを使用する方法があります。以前の据え置きクレジットと言われていたものですが、既にポール・ハリス・フェローになっている人が、年次寄付又は使途指定寄付をすると、その額がポイントとなり、自分がマルチプル・ポール・ハリス・フェローになったり、他の人に譲ることができます。認証ポイントを受取り、現金と認証ポイントの総額で、マルチプル・ポール・ハリス・フェローになることができます。

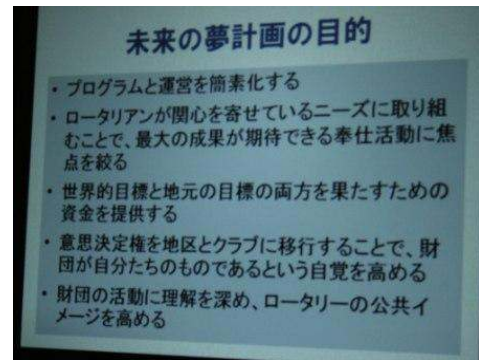
## ・未来の夢計画



財団プログラムが大きく変わって、「未来の夢計画」とよばれています。2010年7月から世界531地区の内100地区が試験段階に入り、2013年7月からは、世界全地区で新制度に移行します。

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えます。新補助金は、財団寄付を最大限に生かす事を目指しています。

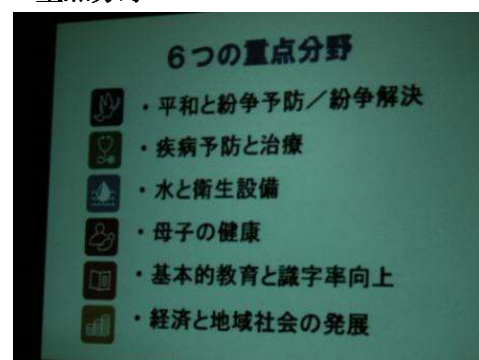
## ・未来の夢計画の目的



今後10年間で、実現したい事に、ポリオの撲滅、重大な問題において権威ある期間と協力関係を持つ、恒久基金に7~8億ドル、年次プログラム基金に年間1.5億ドルを目指しています。目的は、

- ① プログラムの簡素化
- ② ロータリアンが関心を寄せているニーズに取組、最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞る
- ③ 世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供する
- ④ 意思決定権を地区とクラブに移行することで、財団が自分たちのものであるという自覚を高める
- ⑤ 財団の活動に理解を深め、ロータリーの公共イメージを高める

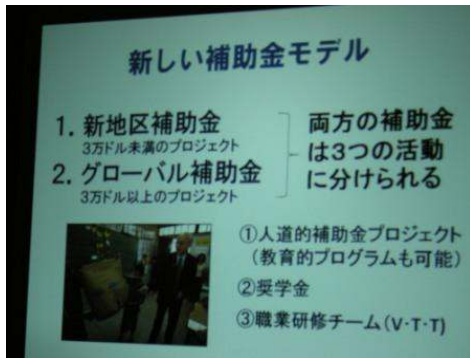
## ・6つの重点分野



未来の夢計画では、計画作成に当たって「5つの優先事項」を掲げているが、これを2つに大別すると、一つにプログラムの簡素化、二つに、地区の裁量権の拡大です。一つ目のプログラムの簡素化には、6つの重点分野を設定し、この分野に力点をおくようにしています。国際活動資金(WF)から資金が拠出され、グローバル補助金で、最低3万ドルという大き

なプロジェクトに限定されます。分野と案件数を絞ることで、持続的な効果を期待できるプロジェクトを実現しようというものです。

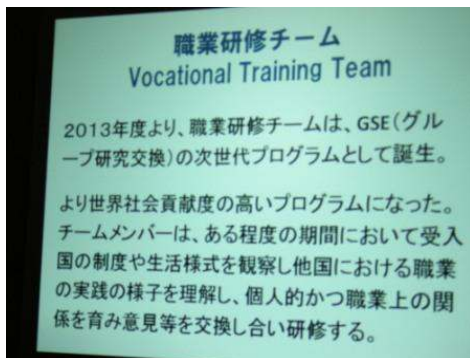
・新しい補助金モデル



新地区補助金とグローバル補助金があります。新地区補助金は3万ドル未満のプロジェクトで、グローバル補助金は3万ドル以上のプロジェクトで使われます。両方の補助金も、三つの活動に分けられます。

- ① 人道的プロジェクト又は教育的プロジェクト
- ② 奨学金
- ③ 職業研修チーム (VTT)

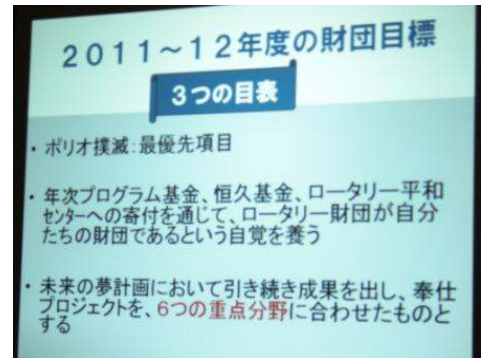
・職業研修チーム (VTT)



VTT は、今までの GSE(グループ研究交換)プログラムの次世代プログラムとして誕生しました。より世界社会貢献度の高いプログラムになりました。チームメンバーはある程度の期間において受入れ国の制度や生活様式を観察し他国における自分と同じ職業の実践の様子を理解し、職業上の関係を育み、意見交換しあい研修するものです。2013年度からは、GSE が、職業研修チームに移行され、今迄の様な相

互交流に限らず、受入か派遣の片方でも可能になった。年齢制限や、期間、人数が今までと大きく変わっています。2500 地区では、2013 年度から実施予定です。

・2011～2012 年度の財団目標 (3つの目標)



- ①ポリオの撲滅を最優先項目としています。
- ②寄付を通じて、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚を養う。
- ③未来の夢計画において、引き続き成果を出し奉仕プロジェクトを、6つの重点分野に合わせたものとする。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



・次回のプログラム

11月12日 (土)

「観楓会例会」(家族同伴) 夜間移動例会

会場 川湯名湯の森 ホテルきたふくろう

担当：親睦活動委員会

・点 鐘 長倉会長

今週の会報担当：木内治彦会員